

特集

安定的な財源の確保に取り組むクラブ

一般社団法人庄内町総合型地域スポーツクラブ コメっちわくわくクラブ ＜山形県東田川郡庄内町＞

日本スポーツ協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018」で掲げる総合型クラブの基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。

そこで今回は、行政や地域と連携し、安定的な財源の確保に向けた取り組みを行っているクラブを紹介します。

1 クラブ概要

通年14教室を実施 会員数295名 常勤スタッフ6名

平成23年2月に庄内町総合型スポーツクラブ「コメっちわくわくクラブ」を設立しました。誰もがスポーツや文化活動を通して、心身の健康づくりや思いやりのある地域コミュニティづくりを目指し、生涯にわたり笑顔あふれる、夢のある元気な街づくりを実現するという理念のもと各種事業を展開しています。

また、地域の子どもから大人まで、障がいの有無に関わらず、すべての人に対しスポーツや文化活動を通して、健康・福祉・子育て支援ならびに地域交流の普及と振興、育成に関する事業を行い、生涯にわたり地域の方々の利益と健康増進をはかり、豊かな町民生活に向けて活動していくことを目的としています。

令和2年11月には指定管理を行っているクラブとして、施設の安全性や利便性、利用者への安全管理、利用者のニーズに迅速に対応し、より利用しやすい施設となり、町民の健康づくりに貢献するため、クラブを法人化。一般社団法人庄内町総合型スポーツクラブ「コメっちわくわくクラブ」を設立し、運営強化を果たしました。

令和3年度の会員数は10月時点で295名です。教室は通年で14コース、単発のプログラムを約3コース実施しています。事務局は常勤スタッフが6名（クラブマネジャー1名、スタッフ5名）、施設管理スタッフが5名います。

2 取り組みの内容

クラブにスポーツ指導ができるスタッフがいたことや、クラブで外部指導者を抱えていることが評価され、「施設の指定管理」、「町の委託事業」、「小学校、地域からの要請を受けた軽運動教室」などの依頼を受けはじめました。

15施設を管理運営

クラブ発足から5年間は町とtotoからの助成を受け、現在管理運営している体育館の一室をクラブハウスとして借りながらスタッフ2名体制で活動してきました。

平成28年からは町より社会体育施設9カ所の指定管理を受託。これによりクラブスタッフも増員し、これまで体育館主事として施設管理や社会体育事業の職務経験のあった職員も新たに加わり10名体制で管理運営業務とスポーツクラブの活動を展開してきました。

令和3年からは新たに6施設が加わり15施設の管理・運営を行っています。

マラソン大会や駅伝の企画・運営にも関与

体育施設の管理運営の他、庄内町スポーツ協会やスポーツ少年団の事務局など社会体育事業に関する業務も行っています。また、町と連携しマラソン大会やニュースポーツ体験事業の企画・実施、県縦断駅伝における中継所の運営、文部科学省から依頼のある体力・運動能力調査の実施なども受託しています。

小学校クラブ活動等でもスポーツ指導

町内の幼稚園や、小学校のクラブ活動、PTA行事、地域の老人クラブやサークル団体、町健康福祉事業などの依頼に応じて、軽体操やニュースポーツの指導を行っています。

指導に当たるのは主にクラブのスタッフですが、その他、地域のスポーツ指導者や大学生にも指導を依頼しています。また、過去には地域おこし協力隊とも連携していました。

自主財源は会費と事業収入

財源はクラブの会費や事業収入からなる自主財源と施設管理運営経費からなるものです。施設管理業務や社会体育業務を行うことで町から指定管理委託料が得られるため、施設の利用者の増加に努め各種事業を展開し、町の活性化に資することで、町との信頼を築くことが大切であると考えます。



クラブで指定管理している
八幡スポーツ公園



楽しい山歩き



スポーツ協会表彰式



スポーツ少年団スポーツテスト

3 取り組みの効果と課題

人件費は施設管理業務や社会体育業務などからなる指定管理運営の会計から捻出されるため、会員を増やす取り組みや種々の事業展開に集中できるのが一番のメリットです。

活動が地域に定着し、依頼や委託が増加

また、上記取り組みの結果、地域や外部団体からの指導依頼、委託回数は年々増加し、活動は地域に定着しつつあると感じています。また、体育施設の利用者も指定管理受託後、増加傾向にあります。

会員数は減少傾向

しかし、スポーツクラブの会員数は平成28年度をピークに減少傾向あり、年齢層にも偏りがあります。新規入会もなかなか増加していません。

魅力ある多世代型メニューの提供を

今後、若者のスポーツ離れや少子高齢化が進む中、より多くの町民や利用者が安心安全に施設を活用することができるような事業展開と、子どもから高齢者まで誰でも気軽にクラブの活動に参加できるよう多世代種目に応じた魅力あるメニューを提供していく必要があると感じています。また、ホームページやSNS等で活動をPRするなど情報発信を推進しながらスポーツ活動への関心を高めていくことが課題解決のために重要であると考えます。

4 管理運営に偏重せず、クラブの自立と発展を目指す

今後は自主財源確保の取り組みも視野

指定管理施設が増加したことから、業務が管理運営に偏重していることが否めません。今後、クラブの自立および発展的存続のためにも自主財源を確保する取り組みもしなければならないと感じています。

段階的に休日部活動の受け皿に

また、令和5年度からは休日の部活動が段階的に地域に移行し、その受け皿をスポーツクラブで担うことになるようです。本町はスポーツ少年団活動や中学生の部活動も非常に盛んな地域です。そこでtotoのバス事業などを活用しながら大会や遠征時の貸し出しなども視野に入れているところです。

本クラブはスポーツ活動を行う施設環境や機会等は比較的整備されていることから、地域や施設の特色を生かし魅力あるクラブ運営を目指していきたいと考えています。

(コメっちわくわくクラブ クラブマネジャー 高橋 大輔)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成23年2月26日（令和2年11月4日法人登記）

所在地 山形県東田川郡庄内町

運 営 会員数295名（令和3年10月現在）、予算規模75,206,000円
（令和3年度予算※指定管理委託料含む）

特 徴 スポーツクラブの運営から体育施設の管理を行い、庄内町のスポーツの拠点となっています。当クラブでは、誰もがスポーツや文化活動を通して、心身の健康づくりや思いやりのある地域コミュニティづくりを目指し、生涯にわたり笑顔あふれる、夢のある元気な街づくりを実現するという理念のもと各種事業を展開しています。

連絡先 〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字大塚5-1

TEL 0234-43-3347 FAX:0234-43-4880

URL <https://wakucome.com>

E-Mail takahashi-daisuke@wakucome.jp